

かんてつ 通信 貫徹

12月 定例議会報告

No. 37



徹する力。

藤沢市議会議員
おおや 徹

発行日
2019年1月
発行者
藤沢市議会議員
大矢 徹 (おおや とおる)
連絡先
藤沢市鶴沼藤が谷 4-17-5
~302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062
【メール】ohya.toru@gmail.com
ホームページ
<http://www.ohyatoru.com>

12月議会内容

12月3日から12月21日まで、12月定例議会が開催されました。主な内容は、指定管理者の指定、藤沢市市税条例の一部改正、平成30年度藤沢市一般会計補正予算（一般会計補正予算の補正額は、8億7,758万8千円で、補正後総額は1,401億2,015万5千円）などです。

私は、市側が提案した全ての議案に賛成し、可決されました。ただし、継続審査となっていた平成29年度決算については、介護保険事業費特別会計決算のみを不認定としました。

1. 藤沢市子どもの未来応援条例の制定に向けて

家庭の生活困窮や親兄弟の面倒を見る子（ヤングケアラー）等、学校教育は新たな問題を抱え始めています。4年前の子どもの貧困に関する対策法制定以降、藤沢市内でも学習支援や子ども食堂など様々な対策が行われていますが十分とは言えません。

今議会において、私の所属する「民主クラブ」から、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、状況に応じたきめ細やかな教育・生活・就労・経済的支援などの計画策定と事業実施を図ることを目的とした『藤沢市子どもの未来応援条例』の制定を提案しました。

この議案に対する質疑終了後、継続審議の動議が出され、継続審査となっていますが、今後各会派の意見を踏まえて、必要な対応を図っていきます。

年頭に あたって



穏やかな天候に恵まれ、新たな年を希望に満ち、元氣一杯で迎えられたことと存じます。昨年は、皆様のご支援により、日々藤沢市議会議員として、力強く活動させていただいたことに、心より感謝申し上げます。

正月恒例の箱根駅伝では、東海大学が総合初優勝。私の母校、日本大学は14位で残念ながらシード権を獲得することができませんでした。来年は予選会からの挑戦となりますが、本選出場に期待したいと思います。



本年4月には、藤沢市議会選挙が行われ3期目に挑戦します。前回の選挙では、得票を604票減らしましたが36人中28番目で当選を果たすことができました。

私自身、これまで、議会が市民の身近な存在でなければいけないと思い、議会活動報告『貫徹通信』を議会ごとに発行するとともに、勤労者や社会的に弱い立場の方の視点に立った活動や、私に寄せられる市政課題の解決に向けて精一杯努力してきたつもりです。

今後もそういった役割を果たしていきたいと思しますので、引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い致します。

2. 村岡地区のまちづくりのとりくみについて

村岡地区のまちづくりについて、県・藤沢市・鎌倉市での協議結果を受けて、それぞれの負担と2020年度中に藤沢市として新駅設置の最終判断をするという考え方が示されました。

私は、村岡新駅設置については、相当な事業費がかかること、市民会館や藤沢駅周辺の再整備と事業時期が重なること、公共施設再整備に伴う起債の償還も相当な額となることから、事業実施の最終判断は慎重にするべきと考え、民主クラブを通じて質問しました。

これに対し、副市長は「概略設計の結果、事業費が大幅に増加した場合や、JRからの支援が得られなかった場合、今後の本市の財政状況の悪化などがあった場合には、ゼロベースで見直す」との考え方を示しました。

引き続き、今後の動向を注視していきます。

3. 奨学金給付事業の給付対象者を拡充

2018年1月、日本を代表する国際的オペラ歌手である故白石敬子氏より、経済的に厳しい環境にある医師・歯科医師を志す子どもたちの支援を目的として、教育応援基金に5,000万円の寄付があったことから、現在の奨学金給付事業の給付対象者が1名拡大されます。対象は大学の医学部・歯学部をめざし、世帯の合計所得266万円未満、生活保護受給世帯、児童養護施設入所者または退所者の子どもとなります。

4. 文化ゾーンの再整備について

南図書館が小田急百貨店へ暫定移転

市民会館再整備と切り離して、南市民図書館と市民ギャラリーを2019年7月の早い時期に小田急百貨店6階に暫定移転することとなり、移設するための設計に係る負担金について、734万円の補正予算を組みました。2月議会で、進捗状況が報告される予定です。

市民会館は建て替えへ

藤沢市民会館の再整備については、検討の結果「建て替え」との結論が出されました。概算事業費は約120億円です。

再整備手法については、公共工事にするか民間活力を活用するかを検証した結果と、今後の金利動向等を勘案し、最適な手法を選択していくとされていますが、いずれも途中3年間の休館を経て、2027～2028年度の供用開始となり相当な期間を要します。

私は、3年間休館することが、市民会館設置以来、施設の運営を担ってきた、市民会館サービスセンター(株)の経営や雇用に影響を与えると考え、市の対応を問いました。

それに対し市は、「長期にわたり、サービスセンター社員に協力をいただいていた。再整備に伴い長期休館となるため、サービスセンター(株)と協議しながら、出資者、雇用者としての責任を持ちながら課題の解決に向けて努力していく」との考えを示しました。

平成29年度決算討論

9月議会で継続審査となっていた、平成29年度決算認定について、今議会の初日(12月3日)に討論・採決が行われ、藤沢市として初めて決算が不認定(一般会計・介護保険特別会計)となりました。その際、行なった討論の抜粋は次のとおりです。

○組織の再構築について

藤沢市は、2018年に発覚した不適正な事務執行に対する新たな再発防止策として、複数によるチェック体制の強化と、内部統制と不祥事対策を専門的に取り扱う部署を総務部に新設するとしています。

私が所属する「民主クラブ」からは、鈴木市長に対して「藤沢市役所の再生に向けて」と題した申し入れを行い、かつて内部統制と人材育成に一定の効果があつた「部門総務機能」の復活を求めました。

○給付型奨学金制度について

新設された返済がいらぬ給付型奨学金制度に16名が応募し、3名が大学や専門学校に進学し奨学金を受けました。全員にチャンスが与えられた訳ではありませんが、こうした制度があること自体に目標を見出せる環境を整えることが必要です。現在も行われている進学後に行う面談も継続するということですが、卒業まで拡大するとともに、制度を持続可能なものにするために、その財源となる教育応援基金の周知啓発も重要となります。

○カン・ペットボトルの夏期毎週収集試行について

2018年の夏は気温が40度近い日が続くなど、異常気象となりました。こうした中で消費量が高まるペットボトルについて、一部の地域でカンと一緒に毎週収集の試行を実施しましたが、全地域へ拡大した際の処理施設の問題や収集体制など、費用対効果も含めた十分な検証が必要と考えます。



屋メシ放浪記



香蘭 ラーメンと ミニ中華丼セット

今回は、湘南台にある「香蘭」の紹介です。ここのお店のラーメンは私好みの味で、そのラーメンとミニ中華丼のセットが最高です。本格中華のお店ですので、メニューは多彩で、ラーメンの他、パイコー飯も美味しくよく食べます。ぜひ、寄ってみてください。

おおや 徹ホームページのご案内

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたコラムなど、写真も多く掲載しながら書き綴っています。ダイエット企画「大盛り・セット食べません」シリーズも継続中。こちらの進捗も期待してください。議会情報も素早くアップしています。是非ご覧ください！

おおや 徹

検索



もしくは



QRコード